

年度末報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2023年4月28日
- 事業名 : 差別や排除のない人権尊重の社会づくり事業
- 資金分配団体 : 一般財団法人大阪府人権協会

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
①実行団体の活動により、支援地域において被差別・社会的マイノリティ当事者と支援者がつながりを持てる場が作られている	つながりの場 1)場の数や回数	つながりの場 1)支援地域で場を定期的 開催している実行団体10	2024年3月(2023年 度)	毎週4団体、隔週2団体、随時2 団体、不定期2団体が取り組みを 展開しており、最低でも毎月約13 種類35回のつながり場が展開さ れていることから目標に達してい ると判断します。	2
	つながりの場 2)当事者や支援者の 参加者数	つながりの場 2)内容のブラッシュアップ により、参加者数が増えた 実行団体10	2024年3月(2023年 度)	当事者の参加が増加した団体は8 団体、支援者の参加が増加した団 体は9団体であり、現時点では目 標値に対して僅かに追いついてい ない状況です。	2

②実行団体の活動により、支援地域において被差別・社会的マイノリティの人権問題の学習や交流の場を開催し、参加者の学習が進んでいる。また、学習ツールが作成されている	学習や交流の場 1)場の数や回数、参加者数	学習や交流の場 1)支援地域で必要に応じて場を開催している実行団体 10	2024年3月(2023年度)	全ての団体が学習の場や交流の場の開催ができている状況であり、目標を達していると判断します。 36種類 53回/月	1
	学習や交流の場 2)人権問題の認知度と参加者の変容	学習や交流の場 2)人権問題の理解が深まったと参加者が感じる場の開催ができている実行団体 10	2024年3月(2023年度)	6団体が人権問題の理解が深まる効果をアンケートや参加者の行動変容から実感しています。他の4団体は、データ収集に至っていません。そのため、現時点では目標の達成が明確に確認できていない状況です。	2
	学習や交流の場 3)作成された学習ツールの数	学習や交流の場 3)支援地域で人権問題の理解を深められるツールが作成され、それが団体や行政、企業等で活用されている実行団体 10	2024年3月(2023年度)	6団体がツール作成に取り組み、完成が6種類、未完成が1種類の状況です。また、ツールの活用状況は、完成したすべてのツールが適材適所において活用されています。 ※全ての団体がツールの作成に取り組むわけではないため、目標値の変更が必要であり、概ね目標に達していると判断します。	4

③実行団体の活動により、支援地域において被差別・社会的マイノリティ当事者が抱える人権課題や生活課題に対して、人権問題の背景に根ざした相談や支援の体制が構築されている	1)対象者からの相談や支援の数	1)支援地域で対象者に相談や支援を行っている実行団体10	2024年3月(2023年度)	全ての団体が相談や支援またはリファーに取り組んでいるため目標に達していると判断します。	1
	2)アウトリーチの取組や相談・支援の認知度	2)相談や支援が認知され、相談者につながれている実行団体10	2024年3月(2023年度)	7団体がアウトリーチに取り組んでいます。10団体とも相談者とはつながっていますが、相談先としての認知度については測れていない状況です。認知度を除くと目標に達していると判断します。	2
	3)相談の解決・自立支援の状況	3)人権問題の背景に根ざした相談や支援ができています	2024年3月(2023年度)	6団体が直接的に対象者へ相談支援を行っており、4団体が中間支援的に相談支援を行っている状況です。直接的または間接的な相談支援であるか否かは、団体の特性によるため、相談支援の手法や内容に差異がでることは想像に容易く、概ね目標に達していると判断します。	2

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
④資金分配団体の支援により実行団体が、支援地域において被差別・社会的マイノリティの人権問題を社会に情報発信や、団体や行政、企業等とつながりを持つことができている	1)発信数や発信先	1)支援により、当初より発信先が確保され、定期的な情報発信を行っている	2024年3月(2023年度)	9団体が団体のHPを開設し、情報発信に活用しています。また、全ての団体が事業実施前と比べ、発信先が増加しました。発信状態が定期的な団体は3団体、不定期(イベント実施時に合わせる)な団体は6団体で、発信数については調査ができていない状況です。定期的な発信を行っていない団体が半数以上であることから、現時点では、目標には達していないと判断します。	2
	2)協働して取り組む団体数	2)支援により協働して取り組む団体等がある。あるいは団体等の数が当初より増えている	2024年3月(2023年度)	全ての団体が事業実施前と比べ、協働先が増加しました。増加した団体数は、19カ所(把握できているもののみ)です。よって目標に達していると判断します。	1

⑤資金分配団体の支援により実行団体が、支援地域において人権問題の解決に向けた課題解決のための方策について行政等への政策提言を行うことができています	1)政策提言するための力量	1)支援により、政策提言を実行する力がついている	2024年3月(2023年度)	全ての団体が取り組みを通じて社会課題を再認識し、制度の狭間における支援の必要性についても実感を得ています。そのため、政策提言をおこなう材料は揃っており、十分に発信して行くことが可能と考え、目標に達していると判断します。	1
	2)政策提言の実施数	2)支援により、政策提言につながっている	2024年3月(2023年度)	4団体が政策提言を実施しています。実施の回数については確認ができていない状況です。目標を明確に立てていないため、達成状況の判断ができていません。	2
⑥資金分配団体の支援により実行団体が、人権問題の解決に向けた継続した事業と組織の運営ができるための地域資源（資金や人材や情報）の活用方法などを習得できている	1)自主財源を得ていくための体制	1)支援により、人権問題の解決に向けた継続した事業と組織の運営ができる体制が構築されている	2024年3月(2023年度)	全ての団体において、人権問題の解決に向けた継続した事業と組織の運営ができる体制の構築はできていると考えますが、突発的な状況が起きた場合に団体内でフォローできる体制が不十分な団体もあります。自主財源を得ていくことに関しては、8団体が可能な状態ではありますが、	2

				そのなかには課題の残る団体も含まれる状況です。そのため、現時点では目標の達成には至っていないと判断します。	
	2)助成金や補助金の活用状況	2)支援により、活用できている	2024年3月(2023年度)	5団体が助成金や補助金等を活用し、自主事業の運営の一部を担えています。現時点では目標の達成には至っていないと判断します。	3
	3)地域資源の活用状況	3)支援により、活用できている	2024年3月(2023年度)	全ての団体が新たな関りや新たな場として、地域資源を活用し事業を展開できています。	1

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値

6.(任意)非資金的支援の活動に関する報告

2022年度は、重点テーマをつながりづくりとし、事業の実施と拡大を支援しました。

年度上期には、これまでの取り組みの成果の進捗状況を把握するために必要な中間評価が適切に行えるよう全体研修会として、評価の研修会を実施しました。その後、フォローアップとして、実行団体ごとに評価の専門家の同席のもと訪問による評価支援を実施しました。その結果、取り組みや予算・人材などの資源配分の見直し、必要に応じた事業計画の改善につなげました。

日々の月次会議では、常にアウトカムを意識し、達成に向けた方法の模索や困り事について検討を進めました。加えて、月次会議以外にも資金計画や事業計画の検討、事務処理などのフォローアップを行い、円滑な事業の実施に向け取り組みました。その結果、事業を進める際の課題が浮き彫りになった実行団体もあれば、事業がより拡大した実行団体もありました。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

《Web ページ掲載》

- ・7/20 中間評価に向けた全体研修会のご報告
- ・11/16 中間報告・交流会～グループ：子どもを支援する実行団体～
- ・11/16 中間報告・交流会～グループ：人権教育教材を作成する実行団体～
- ・11/16 中間報告・交流会～グループ：社会孤立や組織基盤強化に取り組む実行団体～
- ・1/31 年間報告・交流会のご案内～きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～
- ・4/3 年間報告・交流会のご報告～きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～
- ・4/15 解放新聞京都版 年間報告・交流会に関する記事の掲載

2.広報制作物等

チラシ：年間報告・交流会のご案内～きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～

冊子：きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～制度の狭間に挑む10事業～団体紹介

きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～制度の狭間に挑む10事業～ToC

スライドショー：きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～

2022年度 人権NPO協働助成事業 年間報告・交流会

制度の狭間に進む10事業

飛びなおされた地域の人間関係

距離差別に負けない心を育んだ

きいて！ 知って！ つながって！

社会課題の新たな解決策！！

2021年度から人権NPO協働助成事業を活用して、様々な「社会的マイノリティ」に対する偏見や差別、社会的排除をはじめとする人権問題の解決に取り組んだ10団体。

取り組みを通して実感した参加者や地域の変化、それぞれがめざすゴールなどの程度近づいたかなどを、活動報告をもとにお伝えする年間報告・交流会を行います。

皆さんに実行団体の取り組みを知り、繋がっていただく機会としたいと思います。また、このことを通じて、社会的マイノリティに対する理解やその課題解決が進む機会ともしたいと思っています。ぜひご参加ください。

2023年3月10日(金)

時間 午後1時30分～午後4時45分

会場 (対面) エル・おおさか(大阪府立労働センター) 本館7階709 (オンライン) Zoom ミーティング

参加費 無料

主な内容 2022年度の活動報告、参加者質疑、推進委員の助言 (一部) 日本児童福祉活動推進機構より

会場定員 30人(先着順)

定員も満席だった

コロナ禍だからこそできる新しい変化

人権教育教材ができるまで

事業名・団体

- 【地域を再とらし差別に負けない働きを育てる】一般財団法人堺市人権協会
- 【知的障がいのある子どもへの理解を助成】特定非営利活動法人キャリアセンター・ジャパン
- 【高齢者に食の安全と地域の支援ネットワーク構築】特定非営利活動法人ユニーとびらく6584
- 【地域人権啓発活動の推進】茨木市人権推進協議会
- 【子どもとおとなのエンパワメント】特定非営利活動法人人ばわめんとす
- 【むきこもりと社会資源との関係性を探る】特定非営利活動法人ウィークライ
- 【子どもに差別意識を持たない、育たせない、引き継がせないための地域人権教育教材づくり】特定非営利活動法人未来のまなこ
- 【視覚障害者のためのデジタル情報】特定非営利活動法人国際ドットコム大阪府自立支援センター
- 【人権教育のためのデジタル情報】一般財団法人大阪人権協働
- 【外国にルーツがある草履文庫】特定非営利活動法人ほしぞらふるまふあいつくさ

主催 一般財団法人大阪府人権協会
TEL:06-6581-8613 FAX:06-6581-8614 E-Mail: info@jiken-osaka.jp (担当: 野村)

会場案内

場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター)
(大阪府中央区北浜東3-14)

最寄り駅 高家駅、OSKAメトロ「文徳橋」駅から徒歩約300m
近鉄電車「北浜」駅から徒歩約500m
JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩約650m

新型コロナウイルス感染症の感染状況大増広に応じて、開催方法がオンラインのみに変更になる場合があります。

ぜひ参加

開催の10日前までに、参加申込書にご記入いただいたE-mailアドレスへ参加のご案内をお送りします。

申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、FAXかE-mailでお申し込みください。

【年間報告・交流会 参加申込書 3/10】

FAX 06-6581-8614 E-mail info@jiken-osaka.jp

申込日: 2023年 月 日

ふりがな	お名前	ご所属
〒	TEL	FAX
ご連絡先	E-mail	
ご参加の動機	(ご参加にあたっての質問等)	
備考	参加方法	(どちらかに○をお付けください) 会場・オンライン

申し込みの際の個人情報、この報告・交流会の運営のみに使用します。
E-mailでお申し込みの方は、報告に「人権NPO協働助成事業 年間報告・交流会」とお書きください。
会場参加の場合、参加決定通知等のご連絡はいたしません。定員を超過からのお申込みの場合のみ、ご連絡いたします。

一般財団法人大阪府人権協会

2022年度 人権NPO協働助成事業 年間報告・交流会

きいて！ 知って！ つながって！

社会課題の新たな解決策！！

～制度の狭間に進む10事業～

団体紹介

2023年3月10日

一般財団法人大阪府人権協会

2022年度 人権NPO協働助成事業 年間報告・交流会

きいて！ 知って！ つながって！

社会課題の新たな解決策！！

～制度の狭間に進む10事業～

ToC(セオリーオープンチェンジ)

2023年3月10日

一般財団法人大阪府人権協会

2022年度 人権NPO協働助成事業 年間報告・交流会

みて！ きいて！ 知って！

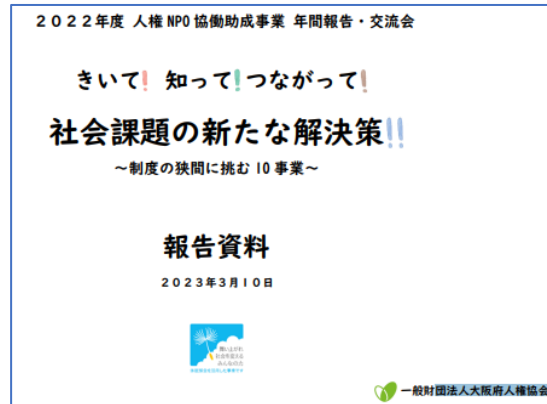
社会課題の新たな解決策！！

2023年3月10日

一般財団法人大阪府人権協会

3.報告書等

冊子：きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～制度の狭間に挑む10事業～報告資料



4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

- ・ 7/2(土)13：30～17：30 中間評価に向けた全体研修会のご報告
- ・ 10/12(水)13：30～16：30 中間報告・交流会～グループ：子どもを支援する実行団体～
- ・ 10/20(木)13：30～16：30 中間報告・交流会～グループ：人権教育教材を作成する実行団体～
- ・ 11/7(月)13：30～16：30 中間報告・交流会～グループ：社会孤立や組織基盤強化に取り組む実行団体～
- ・ 3/10(金)13：30～16：45 年間報告・交流会のご案内～きいて！知って！つながって！社会課題の新たな解決策!!～

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

2022.7.2 全体研修会(評価)



2022.10.12/10.20/11.7 中間報告・交流会



④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：**規程類の変更がないため**

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：